

令和6年度 自己評価

幼保連携型認定こども園長坂保育園

<評価方法> 5:十分達成されている 4:達成されている 3:どちらでもない 2:取り組まれているが十分ではない 1:取組が不十分である

	評価項目	評価
1	法人の理念、教育保育目標に基づき、全体的な計画を作成している	⑤・4・3・2・1
コメント	法人の理念、教育保育目標に基づき計画を作成している	
2	園や社会の状況を踏まえた教育・保育目標等が設定されている	⑤・4・3・2・1
コメント	園の目標を基本として、毎月の目標は社会の状況や季節の変化などを踏まえ、設定している。	
3	園の教育課程の編成・実施にあたり、前年度の反省を活かし職員間の共通理解がなされている	⑤・4・3・2・1
コメント	毎月、会議やミーティング等で反省を行い、年間反省では全体で話し合っている。会議録を回覧し、話し合いに参加しなかった職員へは口頭で伝えたり、会議録を回覧したりして共通理解を図っている。	
4	幼保連携型認定こども園教育・保育要領について、個々の職員が理解している	5・④・3・2・1
コメント	理解しようを務めているが勉強がまだ必要である。ミーティングなどを使い勉強する機会を増やしていきたい。	
5	職員がそれぞれの全体的立場を理解し、協力しながら職務を遂行している	⑤・4・3・2・1
コメント	それぞれの立場に沿った職務を分担しながら行っている。一人一人の職員が職務に責任を持ち、協力していきたい。	
6	幼保連携型認定こども園教育・保育要領に沿った乳幼児の発達に即した、指導計画の立案と、指導がなされている	⑤・4・3・2・1
コメント	見守るソフトを活用しながら、0・1・2歳児は毎月の個別計画があり、3歳以上児は年3回個人目標を立てている。定期的に見守るチェックをしている。配慮の必要な園児の個別支援計画を立てている。	
7	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	5・④・3・2・1
コメント	それぞれの行事に対し、ねらいや計画を立て実施している。終わった後は振り返りや反省をしているが、ねらいに対しての振り返りが出来ていない行事があったので、ねらいについても話し合っていきたい。	
8	乳幼児の病気やけが等の情報提供(国、県、市からの情報)が行われているか	⑤・4・3・2・1
コメント	回覧や会議、園内研修などを通して職員へ周知し、ポスターを張り保護者へも周知できるよう取り組んでいる。	
9	日常の健康観察や疾病予防のための取組、健康診断が実施されているか	5・④・3・2・1
コメント	毎日、健康観察や視診を行い変化が見られた時は保護者と連携している。年に2回ずつ小児科健診歯科健診を実施。疾病予防の為に玩具の消毒をこまめに行い、土曜日は水洗いするなど徹底していきたい。	
10	避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取組がなされている	⑤・4・3・2・1
コメント	毎月様々な災害に備えた避難訓練を実施している。マンネリ化しないように、時間や集まる場所を変えながら取り組んでいる。	
11	特別な支援が必要な園児のために関係施設等との交流が図られている	⑤・4・3・2・1
コメント	配慮を必要とする園児の個人の記録を取り、配慮しながら保育を進めている。個別の支援計画を立て、嘱託医に相談をしたり療育施設の訪問支援を通し連携しながら個別の対応などを行っている。	
12	園と医療・福祉などの関係機関との連携がなされている	⑤・4・3・2・1
コメント	嘱託医や市の関係機関、療育施設と連携しながら取り組んでいる。	
13	職員会議、ケース会議、園内研修等が定期的に行われている	⑤・4・3・2・1
コメント	毎月職員会議、保育ミーティング、チームミーティング、園内研修を行っている。	

14	実習生やボランティア、中高生の職場体験等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし、体勢を確立している	⑤・4・3・2・1
コメント	マニュアルがあり、計画を立て職員に周知し、担当者も決められている。 (今年度は小学生職場体験1名、高校生ボランティア2名、大学生ボランティア1名(5日間)、子育て支援員研修1名が来た)	
15	認定こども園の役割を果たすために必要な地域の関係機関の情報を収集し、連携した取り組みを行っている	⑤・4・3・2・1
コメント	変更や情報があった場合は会議等で伝達し、共有している。小学校や地域の手紙等も回覧し、情報を共有している。	
16	自己評価が行われ、職員の資質の向上が図られている	⑤・4・3・2・1
コメント	毎日それぞれのクラスで立てた計画に対し反省や自己評価を行い、月や年で個人やチームでも自己評価を行っている。自己評価が資質向上に繋がるようにしていきたい。	
17	家庭の状況や保護者との情報交換を行い、必要に応じて内容が記録されている	⑤・4・3・2・1
コメント	参加日の懇談会ではアンケートを取り、家庭での情報を聞きまとめた物を保護者の方にも渡し情報を共有している。相談をされた際には、相談記録を作成し、個人面談を行った際にも記録をしている。	
18	子育ての支援(延長保育、一時預かり等)が行われている	⑤・4・3・2・1
コメント	延長保育、一時預かり、地域子育て支援広場等が行われている。	
19	情報提供(園だより、HP、感染症等)にあたって、分かりやすく伝える工夫や配慮を行っている	⑤・4・3・2・1
コメント	園だより等のお便りは配布し、HPにも載せている。毎日感染症についても、玄関のボードとHPで伝えている。	
20	地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れている また保護者、地域住民の参画及び協力が行われている	⑤・4・3・2・1
コメント	根城地域のあいさつ運動やごみゼロ運動、防災訓練などに参加している。 年長が史跡根城まつりなどにも参加した。	
21	小学校及び園児、保護者と連携した取り組みを行っている	⑤・4・3・2・1
コメント	年長児が根城小学校の音楽会や江南小学校の学習発表会や運動会の見学に行った。職員が小学校の参観日に参加し、幼保小連絡会や情報交換会など小学校の先生と話し合う機会がある。	
22	健診の結果について、保護者や職員に伝達しそれを教育・保育に反映している	⑤・4・3・2・1
コメント	結果を保護者に伝えている。気になることや囁託医からのアドバイスなどは職員間で共有し保護者へも伝えている。	
23	遊具、玩具、絵本等が活用しやすいように整理・保管・整備されている	5・④・3・2・1
コメント	それぞれのコーナーで担当が決められ、定期的に見直しを行っている。年間の計画をたて、園内研修の中でコーナーの見直しを定期的に行った。	
24	調理場、水周り等の衛生管理がマニュアルに基づいて適切に実施されている	5・④・3・2・1
コメント	マニュアルがあり、毎日掃除を行い清潔に保てるよう心掛けている。トイレの手洗い場など、使う頻度の多い場所は汚れてしまう事が多いので、職員一人一人が意識して、こまめに確認し衛生を保てるようにしていきたい。	
25	事故防止に向けた具体的な取り組みを行っているか	⑤・4・3・2・1
コメント	けが記録簿をつけ、毎月職員会議で話し合いの場を設けている。ヒヤリハットがあった際は朝礼で伝え、職員で共有している。毎月園内外の安全点検チェックを行い、事故防止委員が散歩コースの確認を毎月行い、危険箇所を回覧し会議でも伝え情報を共有している。	
26	危機管理に対するマニュアルがあり、全職員に周知されている	5・④・3・2・1
コメント	マニュアルがあり、職員に配布され毎月避難訓練を行っている。マニュアルの見直しを行い、大切な部分はチームミーティングで確認を行い共有していく。	

(改善できる点や改善方法)

<全体>

- ・園内研修の中で、コーナーの見直しを計画的に行ったので、その都度見直しが行えた。変更した際はきちんと記録もとっていききたい。
- ・園内研修の時間に見直しを行ったため、研修報告の時間が無かったので、来年度は研修報告も計画の中に盛り込んで行きたい。
- ・教育保育要領やマニュアルの確認が回覧になり、理解できていなかった職員もいたので、チームミーティングの中で確認する機会を作っていく。
- ・棚の上など整理整頓が行き届かない事があったので、月のサブの職員が朝や開いている時間に片付けるようにしていく。

<0歳児>

- ・食育に関わる機会が少なかったので、0歳児なりに取り組める内容を考えていく。
- ・発達に合わせた環境や遊具の見直しを定期的に行う。
- ・危険箇所の共有や行動を把握し、噛みつきやひっかけ、ケガなどを未然に防ぐようにする。
- ・1歳児クラスと連携や協力をし合えるよう、お互いに声を掛け合ったり話し合ったりなどしながら、コミュニケーションをとっていく。

<1歳児>

- ・毎日の10分反省ができない日もあったので、1週間の中で日にちや時間を決めて行っていく。
- ・コーナーの見直しは行ったが、絵本の入れ換えや運動コーナーの内容の変更が少なかったので、月を決めて計画的に行っていく。
- ・園児のペースに合わせておやつや給食など時間差にしたので、待ち時間がなく進める事ができ、片付けなども習慣づいてきた。
- ・0歳児クラスとの話し合いや反省が中々できなかったなので、毎日時間を決めて行うべきだった。

<2歳児>

- ・ケガ記録簿への記入をしていない事があったので、けがの対応をした職員がきちんと記入するようにしていく。
- ・配慮を必要とする園児への対応は、チーム内での情報共有をもっと密に行いながら、対応していきたい。
- ・定期的にコーナーの見直しを行い、変身コーナーなど園児の興味や関心に合わせ取り入れたので今後も続けていきたい。

<3・4・5歳児>

- ・毎日の10分間反省に、全員が参加する事が難しかった。活動毎に代表が参加し互いに伝え合うようにしていきたい。
- ・頑張り表をなくしたことで、目標が分かりにくくなってしまったので、定期的に確認できるように時期を決めながら行いたい。
- ・あいさつ当番がおそろになっているので、来年は積極的に取り組んでいく。(時間は10分程度。)
- ・給食の先生からの当番への話が上手く出来なかったので、来年は時間を決め、給食の先生からしてもらいたい。
- ・初めて、保護者の方に教えてもらいながらよさこいやスコープ三味線に触れることができた。様々な園児が興味を持てるよう、来年度以降の取り組みについても、相談しながら進めていきたい。

<子育て支援・一時預かり>

- ・ふれあい広場やルーム開放の来園者と対面で話を聞きながら、来園者同士をつなげる存在になるよう心掛け、ママ友作りの手伝いをしていきたい。
- ・ふれあい広場の準備と並行して、季節感を出すような部屋の雰囲気作りなどを行い、来園者がまた来たいと思うような場所にしたい。
- ・一時預かりを利用する子どもも保護者も、安心して活動できるよう、信頼関係を築けるよう努めた。

<給食>

- ・食の食品群の紹介がメニューボードに、食品を貼るだけになってしまったので、園児に伝える機会を作っていく。
- ・食事中、足をくむ園児の姿が見られるようになってきたので、マナーについて、言葉だけでなくイラストを使うなど分かりやすく伝えていく。